



「歩く県道・東松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H26 Vol.3

第3回「歩く県道（東松峠）」地域づくり検討会を開催しました。高寺地区地域づくり協議会や東北芸術工科大学の学生・教員のみなさんに参加をしていただき、越後街道沿線の地域資源を活用した取り組みを、交流人口拡大に向けて今後どのように進めていったら良いかや、次年度以降の街道整備の方針等について活発な意見交換を行いました。

第3回地域づくり検討会の開催概要

- ◆日時◆ 平成27年3月4日（水）午後1時50分～午後16時10分
高寺コミュニティーセンターにて
- ◆参加者◆ 高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員
会津坂下町役場、会津若松建設事務所企画調査課 合計29名
- ◆話し合われたこと◆
 - 東松峠を活用した地域づくりについて、高寺地区における次年度以降の活動計画や大学との連携を通して考えました。
 - 「新日本歩く道紀行100選シリーズ」への応募に向けて、記載内容等について検討を行いました。
 - 次年度以降整備が必要な箇所について確認し、整備の方向性について話合いました。



高寺地区のこれからの取り組み等

高寺地区地域づくり協議会の廣川会長より、今年度の主な活動や今後の事業計画について説明をしていただきました。

- 今年度のメインの活動は、10月に開催した「東松峠ウォーキング大会」。東松峠を護る会が中心となって実施している峠道の草刈や、県で取り組んでいる「道普請」に参加し、峠道の維持・補修に協力している。
- 次年度以降は、気多宮の別れから東松峠に向う要所に道標や説明看板を建てることで、他の地域の人にも分かりやすいような越後街道としてのルートを作りたい。峠の茶屋跡に方位盤を設置したり、舟渡の一里塚も再現できるように取り組みを進めていきたい。
- ヒメサユリの咲く6月頃に、ミニウォーキング大会を開催することについても検討中。
- 東松峠を訪れる人が増えているので、ガイドの養成も行いたい。
- 峠道に群生しているヒメサユリを利用したイベントや植物マップを作る計画があったが、荒らされることが懸念される等の理由で実施できないのが現状。課題を解決したい。

峠の茶屋跡



舟渡の一里塚



紅葉の季節の東松峠



大学と地域との連携について

- 地域の中で勉強させて頂きながら、地域の人達のために何ができるのかについて考えていきたい。
- 今まででは道普請を中心とした関わり方だった。これからはウォーキング大会のポスターやチラシ、イベントに参加した人に配布する記念品をデザインするなど、地域の魅力を広められるような活動にも協力していきたい。
- 個々の説明看板も大切だが、それを見ることで東松峠をイメージできるようなデザインの統一感があってほしい。デザイン等のアイデアについては、学生が協力することも可能。
- 昔は山と人との関わりが深く、小さな山や沢にも名前がついていた。名前が分からなくなりつつある山や谷、地名等を調べて地域の地図を作りたい。
- 学生が地元の人（年配者）と話す機会を多く持ってほしい。地域特有の食文化や、くらしの仕方、大火災以前の家の間取りなどを知り、記録として残すことも大切。
- 大学と交流を計りながら計画できる取り組みについては、可能な限り協力して進めていきたい。

東松峠にある看板



学生のみなさんと一緒にデザインを考えるのも楽しみ！

古川先生から峠道の説明を受ける学生のみなさん



地元の人の話を聞くこと自体が交流です。

「新日本歩く道紀行 100 選シリーズ」への応募について

- 東松峠をより多くの人に知ってもらう為、「新日本歩く道紀行 100 選シリーズ」選考基準に応募する。
- 応募用紙に記載する道の概要は、東北芸術工科大学の学生・教員のみなさんで、地域の人達が感じている峠道の見所を取り入れ、作成を行う。

「北越潜行の詩」詩碑



峠道には多くの歴史があります。

来年度のスケジュールについて

- 洞門前広場を、休憩スペースとして利用できるように整備を行う。洞門の入口付近に堆積している土砂を利用して、人が腰をかけられる土塁を作り、仕上げに野芝を張る施工方法としたい。
- 旧道で、大正の地すべりにより道の幅員が狭くなっている箇所と、岩盤が露頭し降雨時に滑りやすくなる箇所について、会津坂下町の協力を得て整備したい。
- 地すべりにより道の幅員が狭くなっている箇所は、倒木もあるため、安全に歩ける道にすることを念頭においた施工としたい。
- 雪解け後に現地調査を実施し、状況を確認した上で施工箇所・施工方法等について検討を行う。

整備予定の洞門前広場



訪れた人が、ゆっくりと過ごせる場所にしたい。

みなさんから頂いたご意見を元に、次年度も東松峠を活かした地域づくりに取り組んでまいります。より広域的で活発な活動にしていきたいと思っておりますので、御協力をお願いいたします。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459